

他院治療後に全身リバウンドを経験した成人アトピーの経過 (30 代男性)

症例 ID：001-30-GK2 | 記録日：2016 年 10 月 4 日

1. 診断・治療前経過

小学 3 年生頃から、膝の内側と肘の周りを中心にアトピー症状が出ていました。中学の頃はかなりガサガサした状態で、市販のステロイドを少し使ってしのいでいました。社会人になってからもアトピーは良くならず、粉が出たり、掻き過ぎて出血したりしていました。

20 代後半に他院で 2 種類のクリームと食事療法を受けました。食事制限と外用・ラップ・包帯で一時的にきれいな状態になりましたが、1 年ほど後に再び症状が出始め、以前より広い部位に広がりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	市販ステロイドを使用したほか、他院で処方されたクリームを外用し、ラップと包帯で覆っていました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	中学頃から断続的に使用し、20 代後半の他院治療でも外用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使用しない方針となりました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学 3 年～中学頃	来院前	膝の内側と肘周囲を中心に症状があり、市販ステロイドでしのいでいました。
社会人以降	来院前	粉が出たり、掻き過ぎて血が出たりする状態が続きました。
20 代後半	来院前	他院で食事療法と外用、ラップ・包帯を行い、一時的にきれいになりました。
その後	来院前	症状が再燃し、今まで出ていなかった部位にも広がりました。
松本医院受診後	治療開始	赤と黄色の外用薬、煎じ薬、漢方風呂を始めました。
初期 2 か月	リバウンド期	顔が真っ赤になり、体中に症状が出ました。漢方風呂に長時間入浴する生活でした。
処方変更後	再リバウンド期	再び顔が赤くなり、2 か月ほど続いた後、徐々に赤みが取れてきました。
その後	経過後	硬くなっていたくるぶし周辺がやわらかい皮膚に変わり、割れて出血する状態から、カサカサして粉が出る程度になりました。

4. ピーク時期

ピークは、松本医院受診後の初期 2 か月に顔が真っ赤になり、全身に症状が出た時期と、処方変更後に再び同様のリバウンドが 2 か月ほど続いた時期です。

5. 困りごと

- ・食事制限が大きな負担でした。
- ・他院治療で一時的にきれいになっても再燃し、精神的に追い込まれました。
- ・漢方風呂に長時間入る必要があり、生活上の負担がありました。

6. 経過のまとめ

松本医院受診後、初期 2 か月と処方変更後にそれぞれ顔の赤みと全身症状を伴うリバウンドがありました。

その後、以前は割れて血が出ていた皮膚は、カサカサして粉が出る程度になり、硬くなっていたくるぶし周辺もやわらかい皮膚に変わりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。